

令和5年第5回（11月招集）袖ヶ浦市議会定例会

市政に関する一般質問通告者一覧表

12名 21件

質問順	通告者	質問事項	質問要旨
1	22番 塚本 幸子議員	1 市長の政治姿勢と基本的政策について	<p>今回の市長選挙は無投票となり、市民は候補者である市長の政治姿勢や基本的政策について、確認し評価する機会が失われました。したがって、市民の皆様の声をもとに、次の点について伺うものです。</p> <p>(1) 市民みんなで作る市政を推進していかないか。 コロナ禍を主な理由に、市民との対話集会が行われず、また、協働のまちづくり条例に基づくまちづくりも停滞が見られます。各種審議会、委員会等の開催のあり方も改善が必要で、発言された意見も活かされていません。 このような市政運営を改め、行政組織は市民のために存在するとの認識の基、市民の声と力を活かし、市民みんなで作る市政を推進していかないか伺います。</p> <p>(2) 市政経営の健全性をどのように保っていくのか。 粕谷市長就任前の平成30年度末と令和4年度末の本市の決算状況を比較すると、合計約25億円財政状況は厳しさを増しています。 今後市政経営の健全性をどのように保ちまちづくりを推進するのか、伺います。</p> <p>(3) 市域の均衡ある発展をめざすまちづくりを推進しないか。 本市の人口増加は、昭和地区と平成通りの一部に偏っています。市長は、今後さらに袖ヶ浦駅北側地区から木更津市金田地区までの開発を推進すると述べています。 一方、平川地区は、中川幼稚園と吉野田保育所の閉園・閉所を決定し、平川保育所も将来的には閉所、平川行政センターの健康福祉支援室も閉鎖、他方、金属スクラップ事業場は改善せず、残土埋め立ては放置され、事故多発の花川橋の信号は改善されていません。他地区も課題が山積しており、まちづくりに偏りがあるため、是正して市域の均衡ある発展をめざすまちづくりを推進しないか伺います。</p>

質問順	通告者	質問事項	質問要旨
2	6番 稲毛 茂徳議員	1 市長の掲げる「まちづくりへの更なる挑戦」に関する、アクアラインを活かした新しいまちづくりについて	(1) 袖ヶ浦駅西側地区の新しいまちづくりに関して、現在、区画整理・再開発に向けて、地権者の意向調査が進められているとの報道がされているが、同地区の再開発方針を示すに至るプロセスと現状のフェーズについて
			(2) 袖ヶ浦市は、JR内房線沿線部と内陸部との人口格差が生じていることが課題であると認識している。内陸部における人口の社会増に資する地区計画の機運の動静について
			(3) 市街化区域と市街化調整区域の面的見直しや、並行して真に守るべき農業振興地域の再検討について、どのような考え方・方針で見直し・検討を進めていくのか。
3	17番 吉岡 淳一議員	1 市長の政治姿勢について	(1) 「市民の意見に耳を傾け、市民に寄り添う市政」をどう実現していくか。
			(2) 開発が進む海側地区周辺に比べ、内陸部では生活環境の悪化で市民生活に影響が出ている。違法埋め立ての疑いがある林区陳場台、違法操業の高谷区夫婦作の問題にどう対応していくのか。
		2 水道料金値上げについて	(1) 現下の物価高にあつて、市民生活が困窮しているときに水道料金を値上げする大義は何か。水道料金の値上げを多くの市民が反対している。値上げ回避は2期目の市長の政治姿勢である「市民の意見に耳を傾け、市民に寄り添う市政」の実現第一歩ではないか。
4	5番 木村 淑子議員	1 市民の生命を守り、健康を保つための取組について	(1) 帯状疱疹は80歳までに3人に1人が発症するといわれています。ワクチンの接種費用を助成する自治体が増え、来年度実施予定を含めると400自治体に迫ります。本市もワクチン接種費用の公費助成を検討しないか伺います。
			(2) 子宮頸がんを予防するHPVワクチンのキャッチアップ接種最終期限は、令和7年3月31日です。本市の周知状況について伺います。
			(3) 過去に公的に風しんの予防接種が行われていない昭和37年度から昭和53年度生まれの男性に対して、抗体検査と予防接種のクーポン券が送付されています。実施状況と対応について伺います。

質問順	通告者	質問事項	質問要旨
			<p>(4) 更年期の女性を守り支える対策として、更年期症状を数値化して客観的に捉える「簡略更年期指数（SMI）」のチェックがあります。対象年齢の女性に対する健診での必須化を検討しないか伺います。</p> <p>(5) 骨密度が減少する骨粗しょう症になると骨折しやすくなり、要介護状態になるリスクも高くなります。予防や早期発見に有効な骨粗しょう症検診事業を実施しないか伺います。</p> <p>2 安心して子育てできる環境の整備について</p> <p>(1) 昨年6月の改正児童福祉法の中では、子育て世代包括支援センターと子育て家庭総合支援拠点の二つの機能を維持したうえで、全ての妊産婦、子育て世帯、こどもへ一体的に相談支援機能を有する機関「こども家庭センター」の設置に努めることとされています。本市として、どのような検討をしているのか伺います。</p> <p>(2) 本市の産前産後や育児の支援には、保健師・助産師の訪問、ヘルパー派遣事業、産後ケア事業などがありますが、家事、育児、母親の心に寄り添ってトータルに支えることができる民間資格を有する産後ドゥーラの派遣事業はありません。産後ドゥーラ派遣を助成する自治体もありますが、本市の状況を伺います。</p>
5	20番 笹生 猛議員	1 投票率19.33%について	<p>令和5年11月12日に執行された袖ヶ浦市議会議員補欠選挙の投票率は19.33%であった。この数字は政治離れが叫ばれて久しくなるが、それにしても衝撃的結果であったと感じている。</p> <p>投票率は民主主義が機能しているかどうかを見る重要な指標の一つであると考え、このまま放置するわけにはいかないと考える。今般の市議会議員補欠選挙での投票率を踏まえ、民主主義が機能するための選挙の在り方、投票率向上に向けた取組について伺う。</p>
6	19番 佐藤 麗子議員	1 チョイソコがうらについて	<p>昨年の10月から、長浦地区において実証運行としてはじまったデマンド型の乗り合い送迎サービス「チョイソコがうら」ですが、所信表明にて市内全域へ拡大するとともに、自動運転やライドシェアについても調査検討を行うとありますが、現在の状況と今後の見通しについて伺います。</p>

質問順	通告者	質問事項	質問要旨
		2 地域コミュニティーの在り方について	<p>(1) 昨年12月に市内の自治会長を対象に自治会に関するアンケート調査が行われ、本年2月に調査報告書がまとめられました。その内容について伺います。</p> <p>(2) 長浦地区では、自治会を核として地域まちづくり協議会が設立されています。その取組と地域まちづくり協議会に対する市の考えについて伺います。</p>
		3 臨海スポーツセンターの今後の在り方について	<p>昨年の第6回定例議会にて一般質問した公共施設の在り方ですが、その後公共施設再配置方針が出され、各公共施設の再編について新たな方針が示されました。中でも臨海スポーツセンターについては、プール棟の除却及び今後の在り方を検討するとあります。当時財政部長から、サウンディング型市場調査の導入を検討するとの答弁があり、また今回の所信表明でも、新たに人々が集まる賑わいの場を創出できる様、機能の拡充や再整備等を検討するとありますが、臨海スポーツセンターのその後の進捗状況について伺います。</p>
7	18番 励波 久子議員	1 環境行政（気候危機から身近なゴミ問題まで）について	<p>(1) 袖ヶ浦市の地球温暖化対策を総合的に推進するための地球温暖化対策実行計画の策定が進められています。具体的な検討状況、スケジュール、区域内の温室効果ガス排出量の推計、脱炭素化の目標について伺います。</p> <p>(2) (仮称) 千葉袖ヶ浦天然ガス発電所建設計画に係る環境影響評価の現状について伺います。</p> <p>(3) 第2期君津地域広域廃棄物処理事業について 物価上昇の影響で、契約金額が約826億円から885億円となり、追加負担概算額が現時点で約58億5千400万円かかるとの説明を受けました。容器包装プラスチックの回収を早期にするなど、ごみ処理量の見直しを各市で実施し、建設費の縮小の再検討ができないのか伺います。</p>

質問順	通告者	質問事項	質問要旨
			<p>(4) 公園の木や、街路樹について 大きく成長した公園の木や街路樹は、地域景観の向上、大気汚染の防止、強い日差しを遮断し、人々にやすらぎを与えている一方で、大木化や老朽化、住民への清掃等の負担や冠水の発生など市民の困りごととして多くの声が寄せられています。現状どのように市として認識しているのか、今後の緑地・街路樹等のあり方、管理方針を市民と一緒に考えていく必要があると考えるのがいかにか伺います。</p> <p>(5) 剪定枝等の再資源化事業について 高齢者が庭の枝木の剪定ができなくなり、「シルバー人材センターにお願いして切ってもらっても、クリーンセンターで収集を拒否された」敷地内に大きな木がある方からは「定期的な剪定をして倒木などを防いでいるが、市で受けいれる場所がなく、他市まで行って処理している。市では総合計画で緑かがやくとうたっているが全く考えてないのでは。本当に困っている」との声が寄せられました。循環型社会への変化が求められています。ごみとして燃やすのではなく、市として再資源化できる事業を考えていかにか伺います。</p> <p>(6) 森林管理の状況について 森林の意向調査の状況と今後どのように取り組んでいくのか伺います。</p>
8	15番 緒方 妙子議員	1 今後の移動手段の確保と整備について	<p>(1) 公共交通の利用者減や運転手不足などで移動手段の確保はますます厳しくなっています。そこで一部の地域では自動運転実用化に向けた実証運行が進められています。まだまだ次世代の移動手段、導入には時間が必要との認識ですが、自動運転やライドシェアなどの先進的な移動手段を調査し、車が無くても生活できるまちの実現へ取り組むとのことですが、今後、本市においても実証運行や導入へ向けてどのように取り組まれていくかを伺います。</p> <p>(2) 移動手段確保のために実証運行されている「チョイソコがうら」ですが、今後市内全域へ拡大するとの計画に市民の方々は期待をしております。様々なご要望、改善点も含め、今後の計画について伺います。</p>

質問順	通告者	質問事項	質問要旨
			<p>(3) ガウランド送迎バスを利用しての高齢者への移動支援ですが、コロナ禍により計画が中断されていたようですが、今後どのように試行されていくのか伺います。</p> <p>(4) 誰もが安全、安心に自転車を利用できるまちづくりを目指し、自転車活用推進計画が令和5年度から始まりました。進捗と今後の展開について伺います。</p> <p>(5) 令和2年度の排出ガス規制により今後、原付バイク1種に代わり、原付2種への対応が必要となります。現在、本市では駅前駐輪場で原付2種の駐車可能な駐輪場は1カ所です。長浦駅前においては現在、改修中ですが、どのように対応していくか伺います。</p>
		2 学校施設の整備について	<p>(1) 生活様式の変化などから和式トイレに慣れない児童生徒も多く、利用を控えるケースも見られるとのこと。本市では計画的に洋式化を進めていると思いますが、現在の市内小中学校のトイレ洋式化改修の進捗状況、今後の予定について伺います。</p> <p>(2) トイレ洋式化を計画的に進めるとともに障がいの有無や性別、国籍の違い等に関わらずバリアフリー化を進め、インクルーシブな環境の整備と誰もが支障なく学校生活を送ることが求められています。学校施設において多目的トイレ、ウォッシュレット付きトイレの整備も併せて推進していくべきと考えますが、市としての見解を伺います。</p> <p>(3) 災害時には避難所となる学校施設、特に体育館、および屋外トイレの整備には国の制度を活用して、バリアフリーの観点から多目的トイレはもとより非接触型自動水栓の設置促進に取り組むことも必要と考えますが、見解を伺います。</p> <p>(4) 市内小中学校の普通教室へのエアコン設置は完了したと認識していますが、理科室や美術室など特別教室のエアコン設置の状況を伺います。また児童生徒の熱中症対策や地域の避難所としての役割も担う体育館へのエアコン設置の考え方を改めて伺います。</p>

質問順	通告者	質問事項	質問要旨
9	23番 篠崎 典之議員	<p>1 子育て支援施策について</p> <p>2 袖ヶ浦駅海側地区の新たなまちづくり施策について</p>	<p>本市の放課後児童クラブは、地域の実情と設立経緯に鑑み、公設民営ならびに民設民営で運営されてきたが、特に袖ヶ浦駅海側地区など宅地開発等により、子育て世代が増加している地域では、放課後児童クラブ開設が間に合わず、保護者の就労形態への影響を懸念する声が多く寄せられている。以下の点について伺う。</p> <p>(1) 放課後児童クラブの全市的な状況および宅地開発の影響がある昭和小学校区、奈良輪小学校区の新年度に向けた申し込み等の現状、希望通りに利用できない事態を回避するための方策をどうするのか。</p> <p>(2) 奈良輪小学校区の敷地内にある2つの放課後児童クラブは、すでに定員を超えており、新1年生が利用できない可能性が高い。新設や増設をしないか。また、今後も児童数の増加が見込まれる同小学校区の保護者の不安を解消するための中長期の方策をどのように計画しているのか。</p> <p>(3) 放課後児童クラブの支援員等の安定的な人員確保と負担軽減のために市としてどのような具体策をもっているのか。</p> <p>市長選挙後の報道等によると袖ヶ浦駅海側地区について新たに50ヘクタールを再開発する方針であるなどときくが以下の点について伺う。</p> <p>(1) 区画整理等の開発は、多額の経費を必要とし、人口増加に伴う各種のインフラ整備を要することになる。具体的な施策内容について伺う。</p> <p>(2) 海側地区のまちづくりが進んでいるが、一方で中川富岡、平岡、根形など高齢化や人口減少が進む東部地域の農業振興策や既存住民の意志を反映させたまちづくりの方策が見えてこない。どう考えるのか。</p>

質問順	通告者	質問事項	質問要旨
		3 水道料金負担軽減のための財政支援策等について	<p>(1) 今年11月7日のかずさ水道広域連合企業団議会で令和6年度からの袖ヶ浦・君津・富津の各市の水道料金引き上げが決定され、このうち袖ヶ浦市では、「営業助成補助金」を加味しても来年4月から平均9.84%の値上げとなる。同企業団によれば、令和6年度から毎年約1億8千万円の「営業助成補助金」となれば、令和10年度まで値上げをしなくても良いと聞く。諸物価高騰の中、市民の命と生活を守るために市として同補助金を抜本的に増額し、水道料金負担増が市民に及ばないための施策を実施すべきだがどうであるか伺う。</p> <p>(2) 今回の水道料金値上げに際し、市長としてどのような姿勢で議論を行い審議に臨んだのか、市長の考えを伺う。</p>
10	3番 伊東 章良議員	1 袖ヶ浦市における脱炭素に向けた取組について	<p>(1) 現在作成している地球温暖化対策実行計画の概要・進捗について</p> <p>(2) CO2排出の多数を占める市の産業についてどのように企業と脱炭素を協業していくか。</p> <p>(3) 増加する移住者と共に増えていく住宅。市として進める省エネ住宅に向けて対策はどのようなものがあるか。</p> <p>(4) 市内小中学校の脱炭素化・温暖化に向けた対策について</p>
		2 袖ヶ浦市の今後における『障がい福祉』政策について	<p>(1) 来年度から始まる次期『そでがうら・ふれあいプラン』策定における現在までの進捗と4月からスタートするまでのスケジュールについて</p> <p>(2) 『袖ヶ浦市障がい福祉計画』策定にあたり難病当事者の意見を尊重していくとの事だがどのように声をすくい上げて、どのように反映していくか。</p>
11	2番 佐藤 博文議員	1 アクアラインを活かした新しいまちづくりについて	<p>(1) 本市の地理的特性を活かしたまちづくりについて</p> <p>① 市長所信表明にて、アクアラインを活用したまちづくりへの取組をさらに前進とあったが、これまでの取組と今後の取組の考えについて伺いたい。</p>

質問順	通告者	質問事項	質問要旨
			<p>② 市街化調整区域について、地区計画制度を活用した内陸部におけるまちづくりを創造するとあったが、地区計画制度活用の考えについて伺いたい。</p> <p>③ 市街化区域と市街化調整区域の面的見直しや、真に守るべき農業振興地域の再検討について国や県も含めた関係機関との調整とあったが、具体的な考えについて伺いたい。</p> <p>④ ゆりの里・袖ヶ浦公園周辺の再整備を行う考えは無いか伺いたい。</p>
12	9番 根本 駿輔議員	2 防災につよいまちづくりについて	<p>(1) 災害に対する備えと市民に対する情報発信について</p> <p>① 袖ヶ浦市における災害時情報発信方法の種類について伺いたい。</p> <p>② 令和5年2月に「袖ヶ浦市総合ハザードマップ」が新たに作製されたが、市民への配布状況と活用状況について伺いたい。</p> <p>③ 市民の安全を守るため、より実践的な防災訓練の実施についてどのような内容を行ってきたのか伺いたい。</p> <p>(2) 関係機関・企業等との連携を含めた災害に対する備えについて</p> <p>① 災害時の飲料水と電源確保の状況について伺いたい。</p> <p>② 本年度導入した災害用ドローンの活用方法について伺いたい。</p> <p>③ 一人暮らしの高齢者や体の不自由な方など「避難行動要支援者登録制度」への登録状況について伺いたい。</p>
		1 空家問題について	<p>本市でも空きビルが問題となり行政代執行による除却が完了したが、今後も不適切な管理の空家が問題となる蓋然性が高く、現に地域の方から懸念の声を聞くことがある。</p> <p>(1) 市内の空家について、およその総件数と把握している問題のある空家は現状どのような状況か。</p> <p>(2) 不適切な管理の空家問題改善に向けて、どのような取組を行っているか。</p>